

木更津工業高等専門学校 技術振興交流会 第30回テクノフォーラム・ 木更津高専COC+ 合同シンポジウム

日時 平成31年2月12日（火） 15:00～17:15

入場無料

場所 木更津工業高等専門学校 総合教育棟 第1講義室

■テクノフォーラム講演1

カラス被害対策のための「Cybernetics Crow」の開発

カラスロボットを用いてカラスの会話に参加し、カラスの行動を人為的にコントロールすることができれば、被害対策につながる可能性がある。空中飛行型と地上据置型のカラスロボットの疑似会話でカラスをおびき寄せ、対話のきっかけを作る方法を提案する。

講師： 本校 機械・電子システム工学専攻2年 まつだ みゅうじ 松田 美勇史 氏

略歴： 2012年 4月 本校 機械工学科 入学
2017年 4月 本校 機械・電子システム工学専攻入学
2018年10月 高専ワイヤレスIoT技術実証コンテストワイヤレスIoT活用部門 採択
2019年 4月 東京医科歯科大学大学院医歯科総合研究科 入学予定



■テクノフォーラム講演2

IoTでイノシシ対策（IoTのビジネス現場利用）

IoTとはモノをインターネットに繋げるInternet Of Thingsのことです。今回は私の開発した鳥獣被害対策製品のIoT畧を中心に、事例を取り上げながらIoTのビジネス利用についてお話しします。

講師： 本校 情報工学科 3年 もちづき ゆうた 望月 雄太 氏

略歴： 1998年 8月 船橋市生まれ
2014年 4月 本校 情報工学科 入学
2017年 5月 第12回情報危機管理コンテスト経済産業大臣賞受賞
2017年11月 ベンチャーカップCHIBA 学生部門グランプリ
2018年 2月 第6回「ちばぎん学生版ビジネスアイデアコンテスト」優秀賞



■COC+シンポジウム講演

地域活性 —金谷の取り組み—

富津市最南端の町、金谷。同地区は江戸期より鋸山の房州石の採石が盛んに行なわれてきた。現在過疎化、少子高齢化に直面する町の「石と芸術の町」をテーマにした地域活性についてお話いたします。

講師： 富洋観光開発株式会社 代表取締役 すずき ひろし 鈴木 裕士 氏

略歴： 1961年 2月 天羽町（現富津市）生まれ
1984年 3月 早稲田大学卒業
1984年 4月 千葉銀行入行
1989年 富洋観光開発株式会社入社
2000年 同社代表取締役就任
2010年 金谷美術館設立

